

2017年3月期 決算説明会

&

第7次中期経営計画（2017-2019年度）策定のお知らせ

2017年 5月19日(金)



(証券コード：7591 東証一部)

1 2017年3月期 決算概要&2018年3月期 業績予想

2 第7次中期経営計画 策定 [2017-2019年度]

DATA SHEET

1

2017年3月期 決算概要 & 2018年3月期 業績予想

2017年3月期 総括

事業環境

- 日本経済は緩やかな回復基調が継続。急激な円高や年度後半の大幅な円安が生じる等、先行きの読み難い環境
- 海外市場では、新興国需要を中心にスマートフォンは回復。一方、PCや液晶テレビ等伸び悩む製品群もあり、メーカー間の競争や変動も激しい
- エレクトロニクス業界では、IoT、AI等への参入が本格化

業績

- 中国大型液晶商談確保ができたものの、スマートフォン等の中小型液晶や液晶モジュール用デバイスが低迷し減収減益
- 国内の大型液晶売上は減少したものの、売上総利益率改善に寄与
- 借入金圧縮、売掛金・在庫圧縮によりバランスシート大幅改善
- 主要仕入先の商流変更が始まる

トピックス

- 監査等委員会設置会社へ移行（2016年6月）
- メキシコ現地法人の売上スタート（2016年8月）
- 外貨建債権・債務を外貨建マリー実施へ（2016年10月）
- 借入返済、グローバルコミットメントライン導入（2016年12月）
- 新たなビジネスへの施策
 - ①Astra社とのIoTビジネス（2016年10月）
 - ②Darwin社との業務提携（2016年12月）
 - ③ADS社設立（2016年12月）

2017年3月期 ハイライト

連 結	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想 (2016.5.13公表)	2017年3月期 実績		
	金 額(百万円)	金 額(百万円)	金 額(百万円)	対前期	対予想
				<上段>増減額(百万円) <下段>増減率(%)	
売上高	148,945	100,500	98,703	△50,242 △33.7	△1,797 △1.8
営業利益 【営業利益率】	3,054 【2.1%】	1,880 【1.9%】	1,760 【1.8%】	△1,294 △42.4	△120 △6.4
経常利益 【経常利益率】	2,651 【1.8%】	1,580 【1.6%】	1,448 【1.5%】	△1,203 △45.4	△132 △8.4
親会社株主に帰属する 当期純利益 【純利益率】	2,330 【1.6%】	1,400 【1.4%】	1,065 【1.1%】	△1,265 △54.3	△335 △23.9
E P S(円)	268.87	161.54	122.94	△145.93	△38.60
配当(円)	34	34	34	据え置き	予想通り
総資産	67,192	55,000	49,057	△18,135 △27.0	△5,943 △10.8
純資産	22,915	23,500	23,440	+525 +2.3	△60 △0.3
B P S(円)	2,628.34	2,711.65	2,676.65	+48.31	△35.00
【自己資本比率】	【33.9%】	【42.7%】	【47.3%】	+13.4pt	+4.6pt

2017年3月期 損益状況

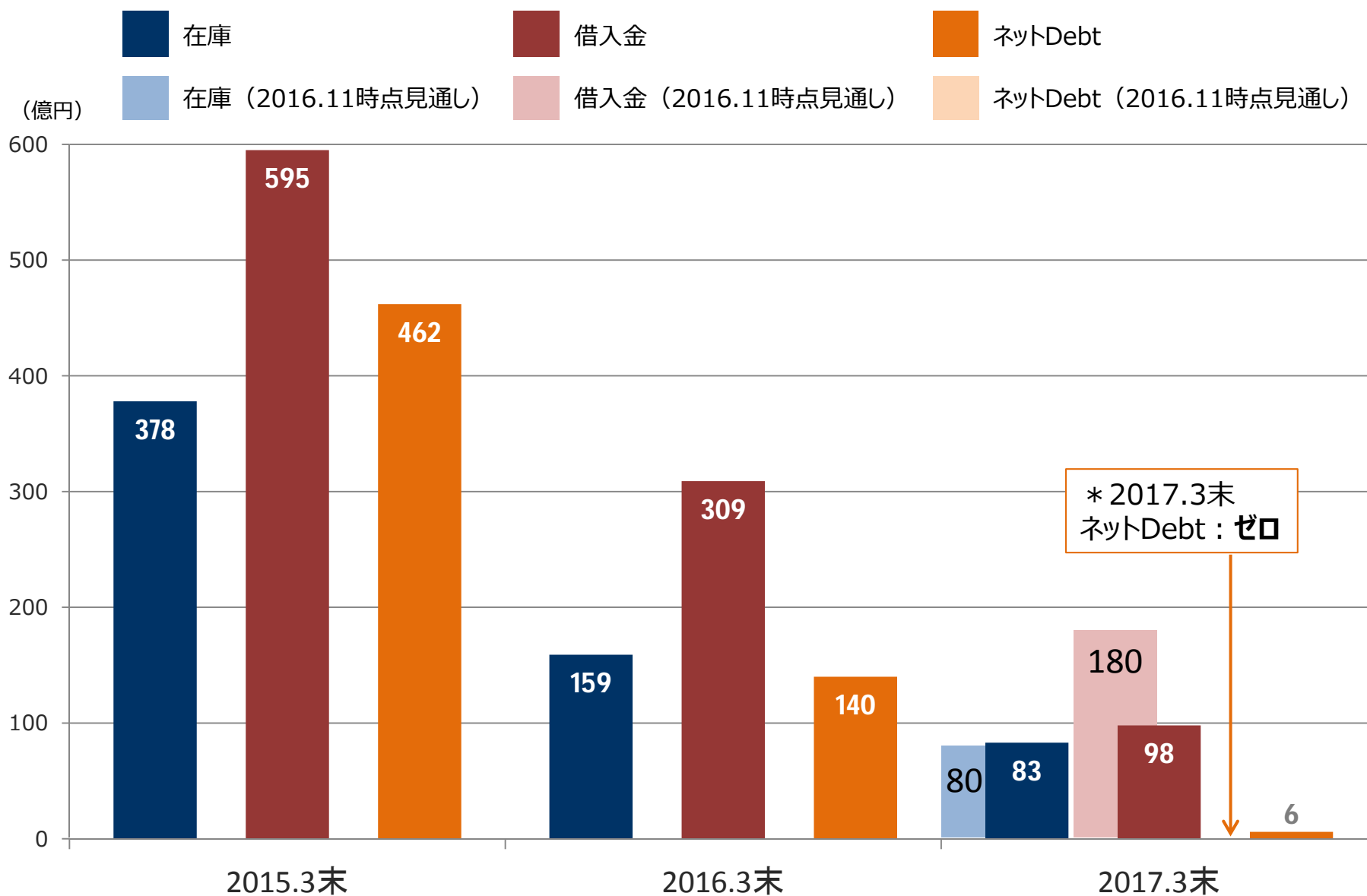
連 結	2016年3月期 実績		2017年3月期 実績				
	金 額 (百万円)	売上高比 (%)	金 額 (百万円)	売上高比 (%)	対前期		主な増減要因 (金額は百万円)
					増減額 (百万円)	増減率 (%)	
	148,945	100.0	98,703	100.0	△50,242	△33.7	国内 20,808 (対前期△22.1%) 海外 77,895 (対前期△36.3%)
売上原価	141,466	95.0	93,228	94.5	△48,238	△34.1	国内粗利率 6.3% → 12.1% 海外粗利率 4.2% → 3.8%
売上総利益	7,498	5.0	5,475	5.5	△2,023	△27.0	
販管費	4,444	3.0	3,714	3.8	△730	△16.4	人件費 2,048 (対前期△200) 販売費 1,100 (対前期△450 内、運賃及び荷造費 △291)
営業利益	3,054	2.1	1,760	1.8	△1,294	△42.4	国内 389 (対前期+73.7%) (国内売上比 1.87%) 海外 1,371 (対前期△51.6%) (海外売上比 1.76%)
営業外収益	191	0.1	302	0.3	+111	+58.1	受取利息 85 (対前期+64)、配当金 82 (対前期+8) 仕入割引 34 (対前期+20)、負ののれん代 62 (対前期±0)
営業外費用	594	0.4	614	0.6	+20	+3.4	為替差損 273 (対前期+81) 支払利息 306 (対前期△78)
経常利益	2,651	1.8	1,448	1.5	△1,203	△45.4	
特別利益	496	0.3	314	0.3	△182	△36.7	貸倒引当金戻入 175 ※破産更生債権の一部との相殺 投資有価証券売却益 139
特別損失	25	0.0	230	0.2	+205	+820.0	減損損失 224 ※市ヶ谷ビル
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,330	1.6	1,065	1.1	△1,265	△54.3	

2017年3月期 財務状況・キャッシュ・フローの状況

連結	2016年3月期末		2017年3月期末			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前期末 増減額 (百万円)	主な増減要因 (金額は百万円)
流動資産	58,895	87.7	40,699	83.0	△18,196	現預金 △7,601、売上債権 △2,821、在庫 △7,544
固定資産	8,297	12.3	8,358	17.0	+61	繰延税金資産 △249、投資有価証券 +487
資産合計	67,192	100.0	49,057	100.0	△18,135	
流動負債	34,520	51.4	24,061	49.0	△10,459	短期借入金・一年以内返済長期借入金 △12,801、買掛債務 △202
固定負債	9,756	14.5	1,555	3.2	△8,201	長期借入金 △8,248
負債合計	44,276	65.9	25,616	52.2	△18,660	
純資産合計	22,915	34.1	23,440	47.8	+525	利益剰余金 +770、その他包括利益累計額 △345
負債・純資産合計	67,192	100.0	49,057	100.0	△18,135	★ネットDebt 140億円 → 6億円 ★自己資本比率 33.9% → 47.3%

	2016年3月期 (百万円)	2017年3月期 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,977	12,332
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60	216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,117	△19,077
現金及び現金同等物	16,284	8,719

(参考) 在庫と借入金の推移 (2015.3~2017.3)

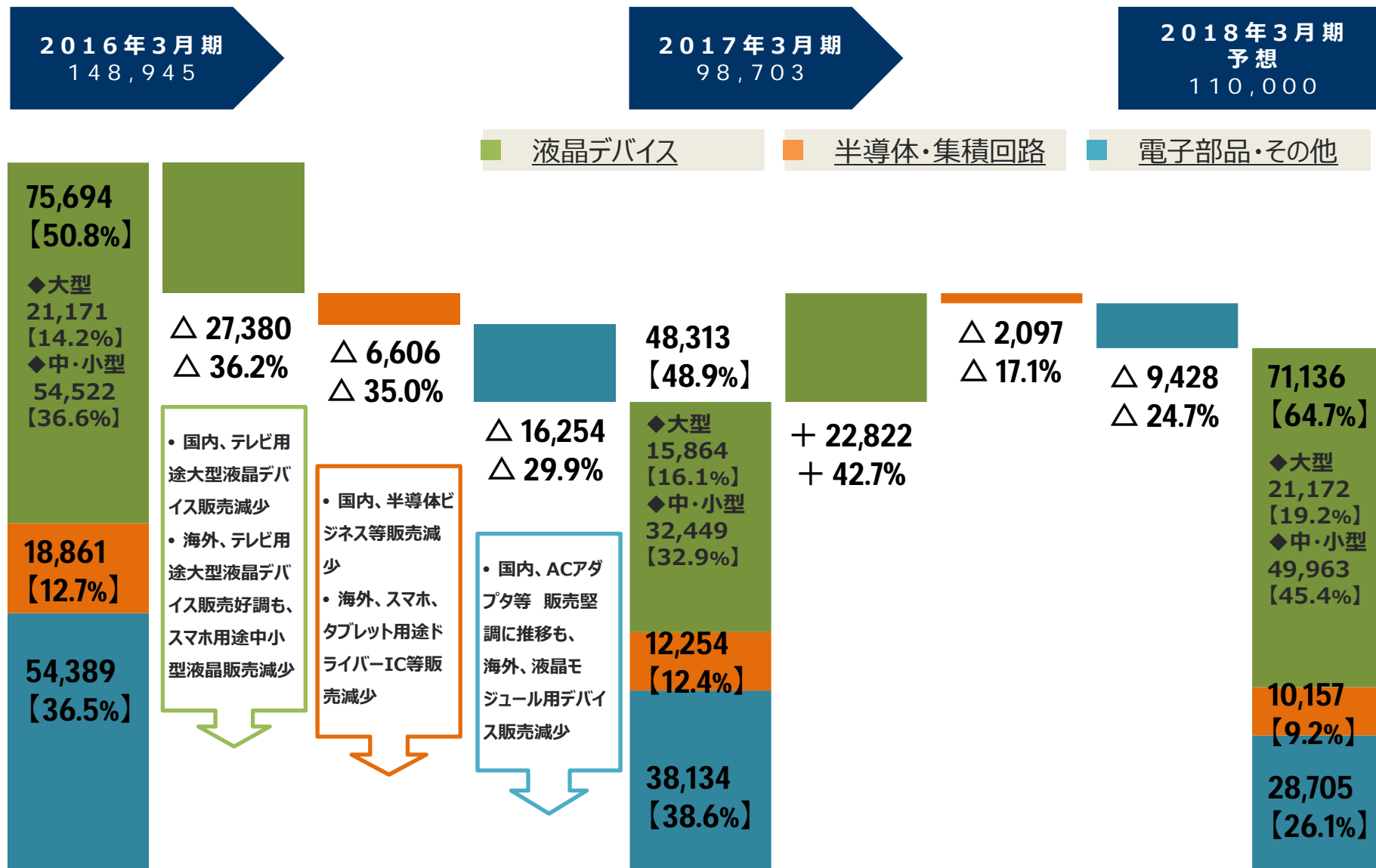


2018年3月期 業績見通し

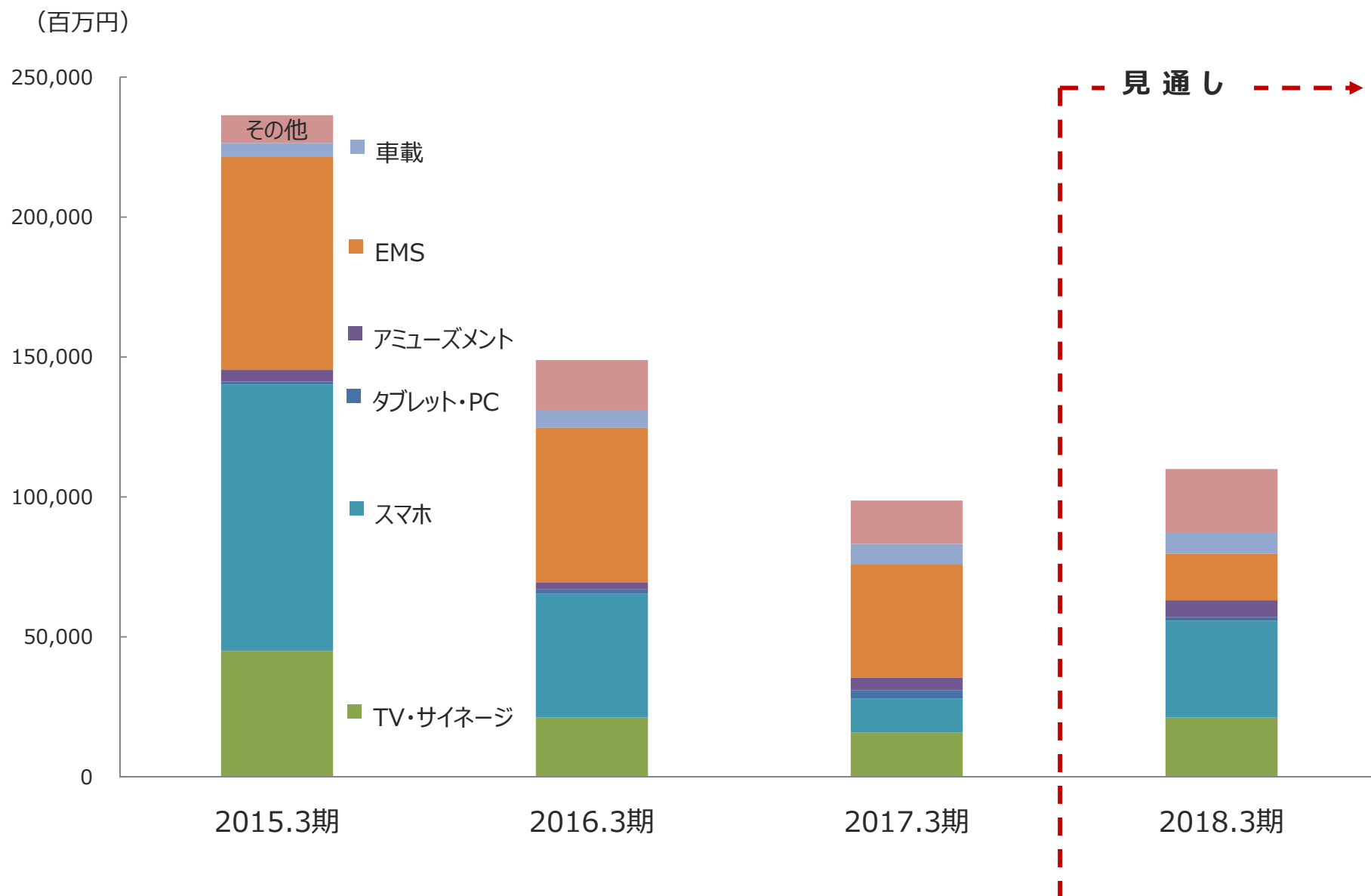
連 結	2017年3月期			2018年3月期予想					
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
	金 額(百万円)			金 額 (百万円)			<上段> 対前年同期・増減額 (百万円) <下段> 対前年同期・増減率 (%)		
売上高	47,391	51,312	98,703	53,000	57,000	110,000	+5,609 +11.8	+5,688 +11.1	+11,297 +11.4
営業利益 【営業利益率】	910 【1.9%】	850 【1.7%】	1,760 【1.8%】	720 【1.4%】	1,080 【1.9%】	1,800 【1.6%】	△190 △21.0	+230 +27.1	+40 +2.2
経常利益 【経常利益率】	662 【1.4%】	786 【1.5%】	1,448 【1.5%】	680 【1.3%】	920 【1.6%】	1,600 【1.5%】	+18 +2.6	+134 +17.0	+152 +10.5
親会社株主に帰属する 当期純利益 【当期純利益率】	642 【1.4%】	423 【0.8%】	1,065 【1.1%】	550 【1.0%】	750 【1.3%】	1,300 【1.2%】	△92 △14.3	+337 +77.3	+235 +22.0
E P S (円)	74.09	48.85	122.94	63.46	86.55	150.01	△10.63	+37.70	+27.07
配当 (円)	17	17	34	20	25	45	+3	+8	+11

品目別売上高の推移

(単位：百万円)【売上高構成比率】



(参考) 用途別売上高の推移



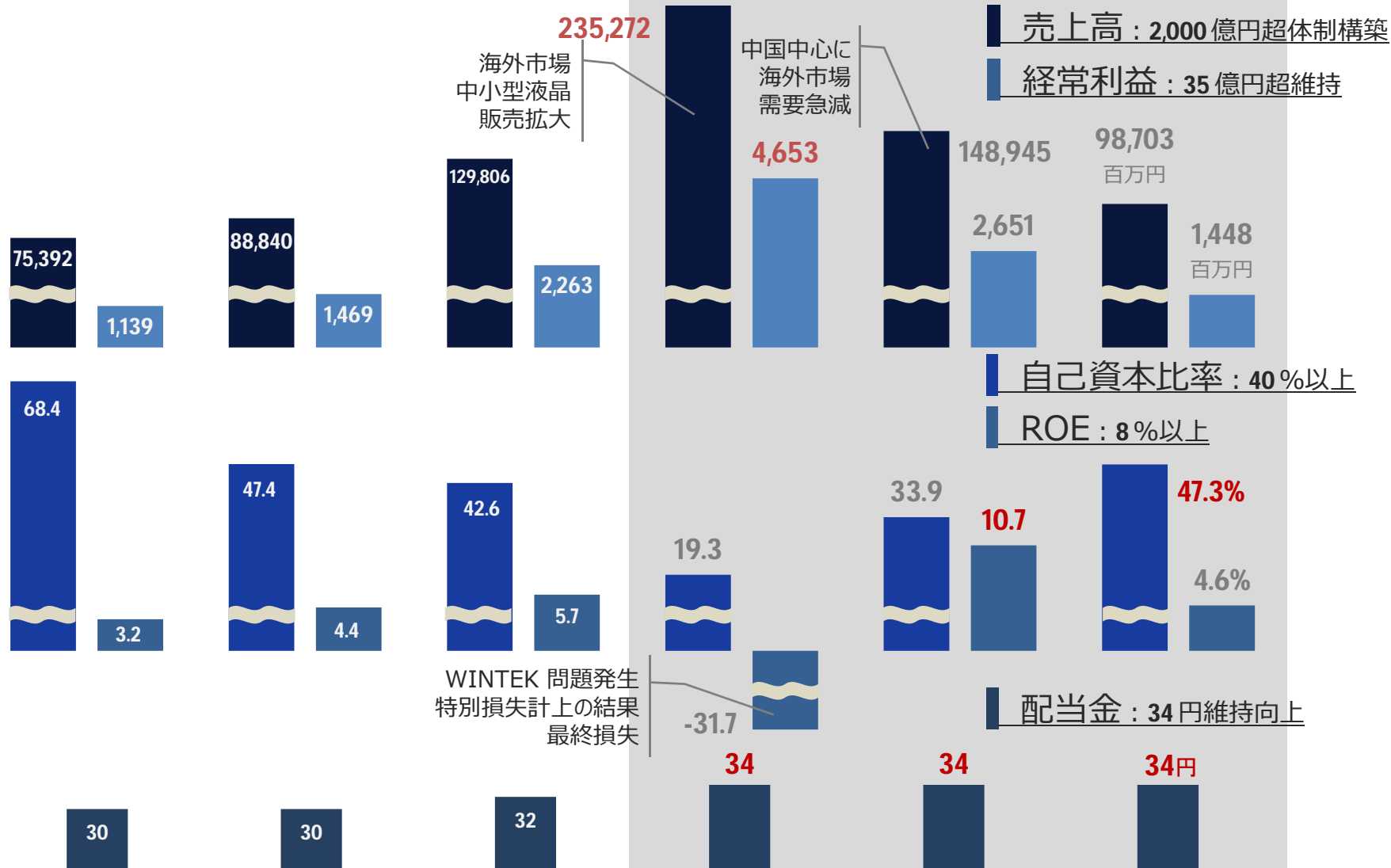
2

第7次中期経営計画 策定 [2017-2019年度]

第6次中期経営計画（15.3－17.3）振り返り

2012.3期－14.3期

2015.3期－2017.3期
当初設定目標



第7次中期経営計画（18.3－20.3）概要①

【計数目標（最終年度：2020年3月期）】

収益力	売上高	2,000億円	2017年3月期対比 2.0倍
	経常利益	40億円	2017年3月期対比 2.8倍
資本効率	ROE	8%	2017年3月期対比 +3.4 p

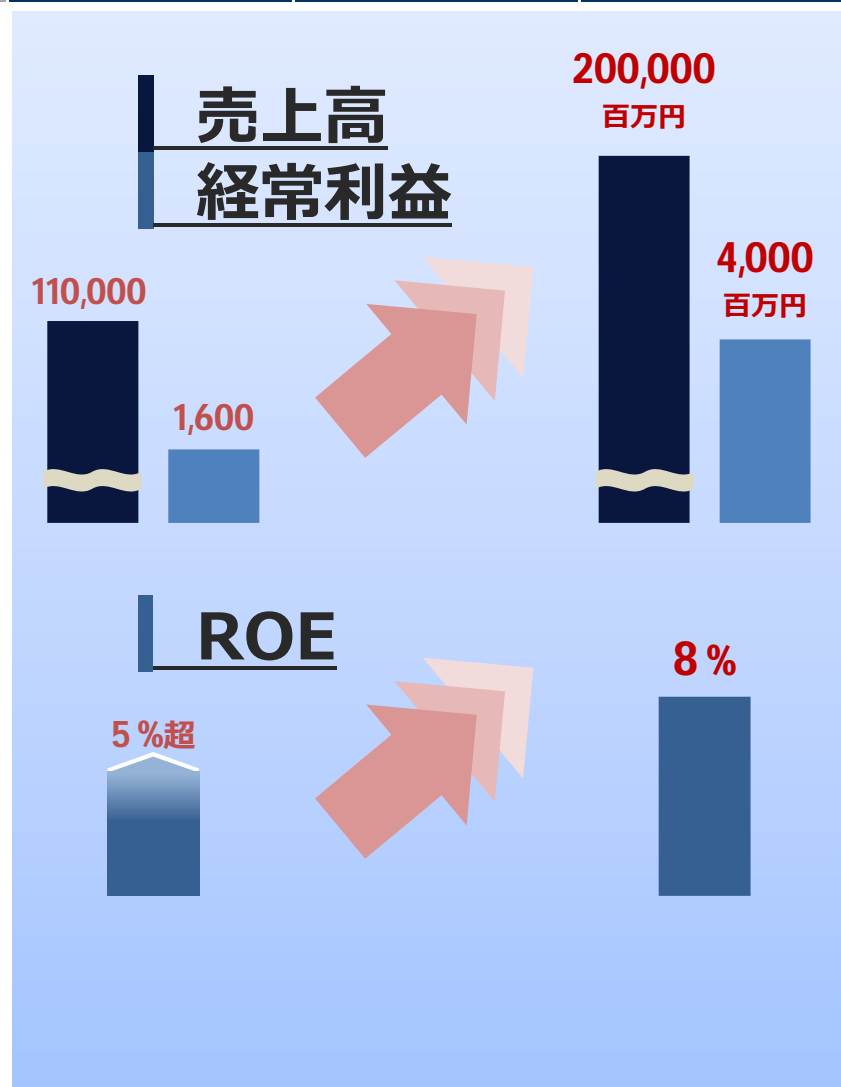
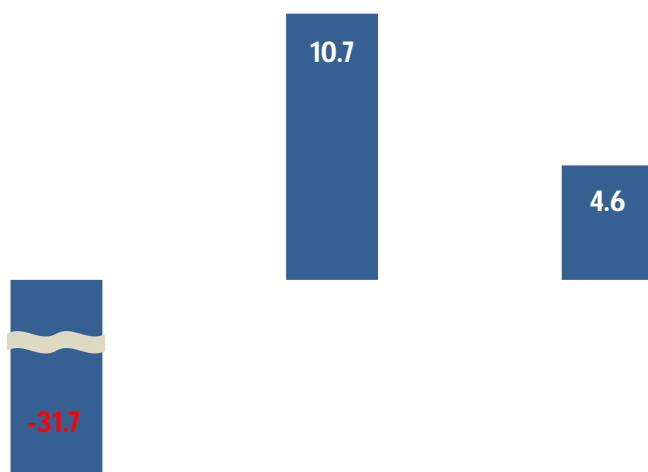
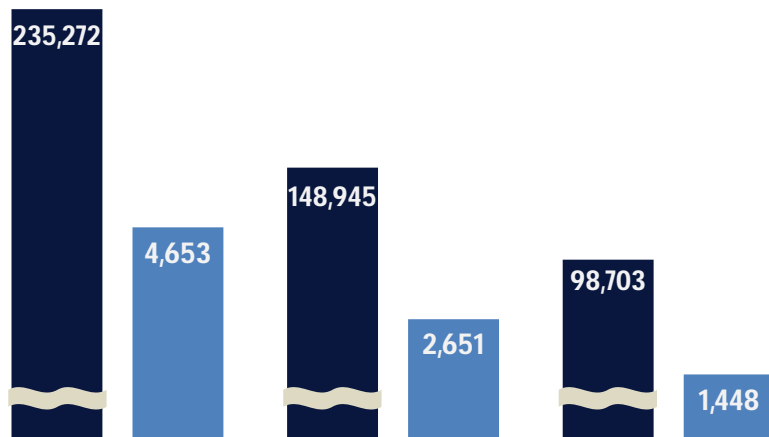
【配当方針の変更】

株主還元	配当性向	30～40% (目安)	従来 (第6次中期経営計画) 34円維持向上
------	------	----------------	------------------------------

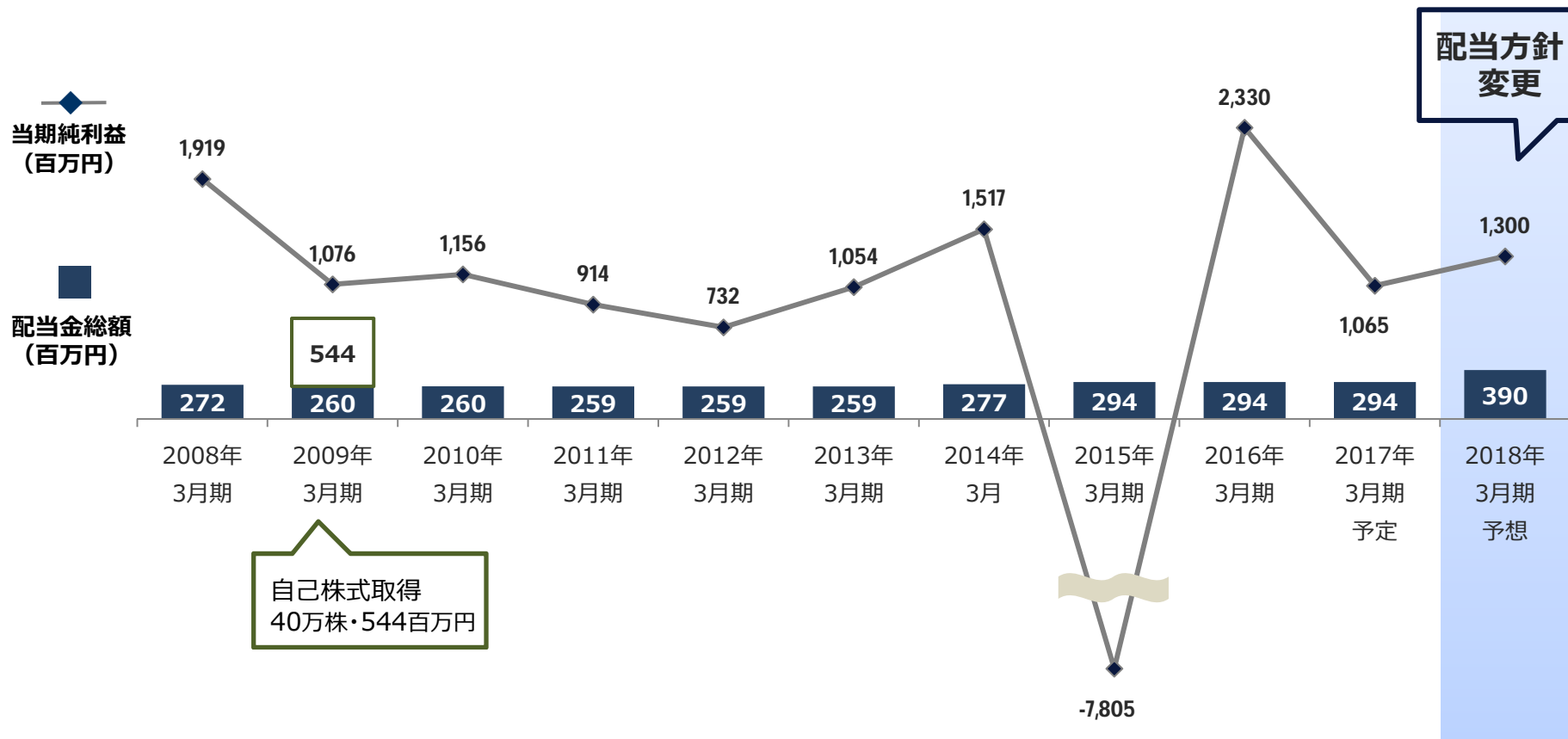
※詳細は5月15日付プレスリリースをご参照下さい

第7次中期経営計画（18.3－20.3）概要②

2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期 予想	2020年3月期 計画
----------	----------	----------	----------------	----------------



株主還元の推移



	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期 予定	2018年 3月期 予想
配当性向 (%)	14.2	24.3	22.5	28.4	35.5	24.6	18.3	—	12.6	21.0	30.0
1株当たり配当金 (円)	30	30	30	30	30	30	32	34	34	34	45

当社を取り巻く事業環境

《 マクロ環境 》

世界

- ◆ 保護貿易、ポピュリズム、民族主義
- ◆ 地政学的リスク

不透明感の高まり

日本

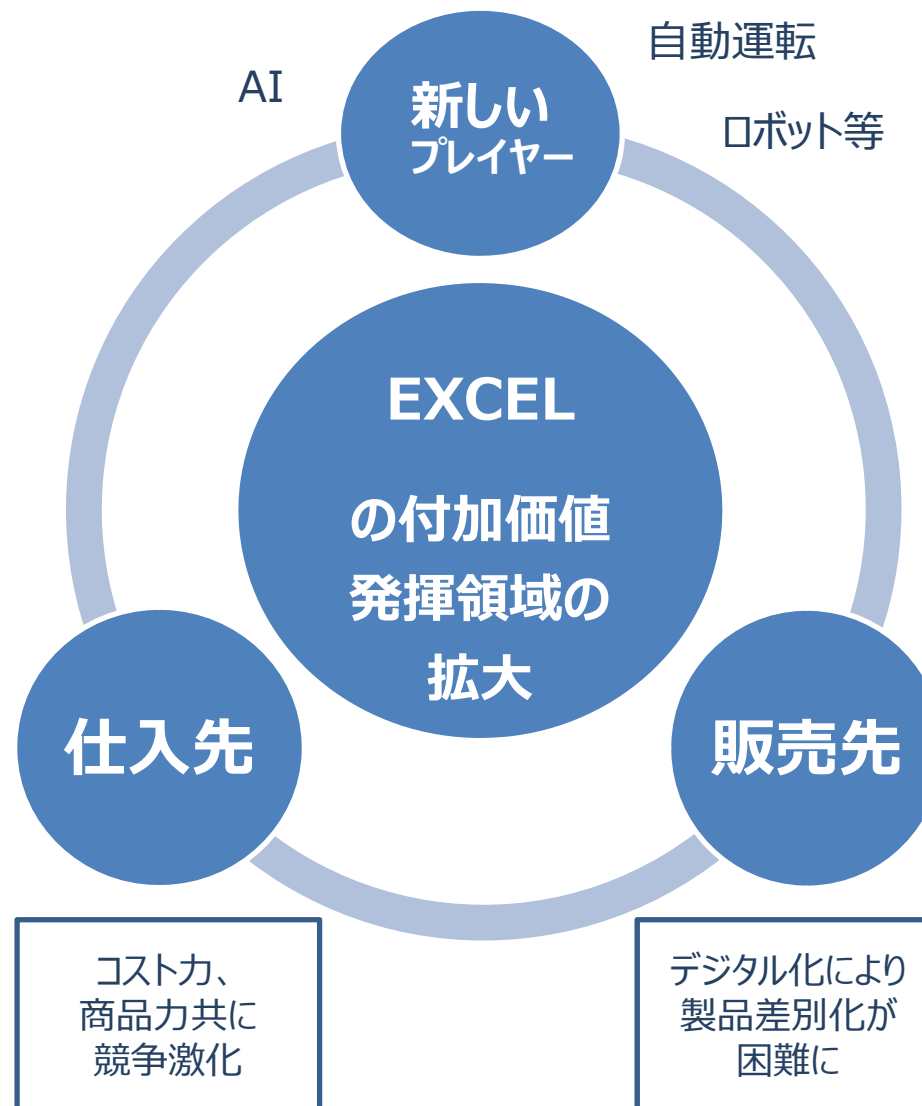
- ◆ 東京オリンピック開催に向けたインフラ投資需要
- ◆ 先行き読み難い景気・為替動向
緩やかな回復も力強さを欠く

エレクトロニクス業界

- ◆ ハード機器販売からソフトウェアを絡めたソリューション販売へのシフト加速
- ◆ 部品購買・自社組み立てから、ユニット購入等により付加価値を付けて差別化を図る流れ

ソリューション力が不可欠

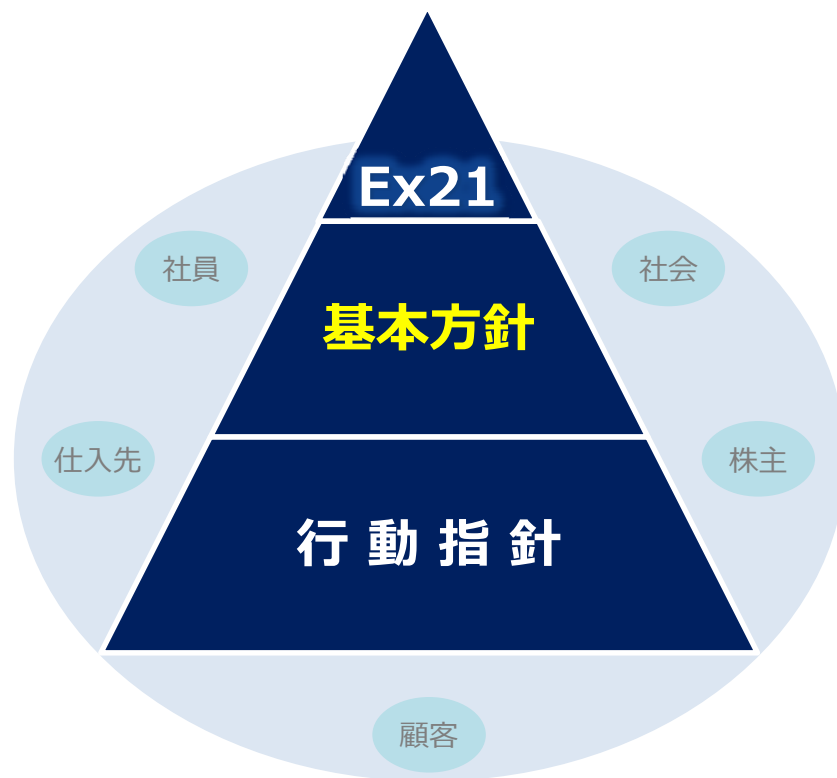
《 事業環境 》



基本方針

企業理念「EX21」

私たちは、企業は公器であることを認識し、
すべての顧客・仕入先・社員・社会・株主に会社の継続的な成長によって満足を提供します。



【基本方針】 エクセルが目指す会社

人とテクノロジーを結び付けること
Connecting people with technologies

『行動指針』

3C (Change・Challenge・Create) の実践

1

液晶総合力でNo.1となる

2

電源とパワーデバイスの両輪を極める

3

‘IoT’のビジネスモデルを確立する

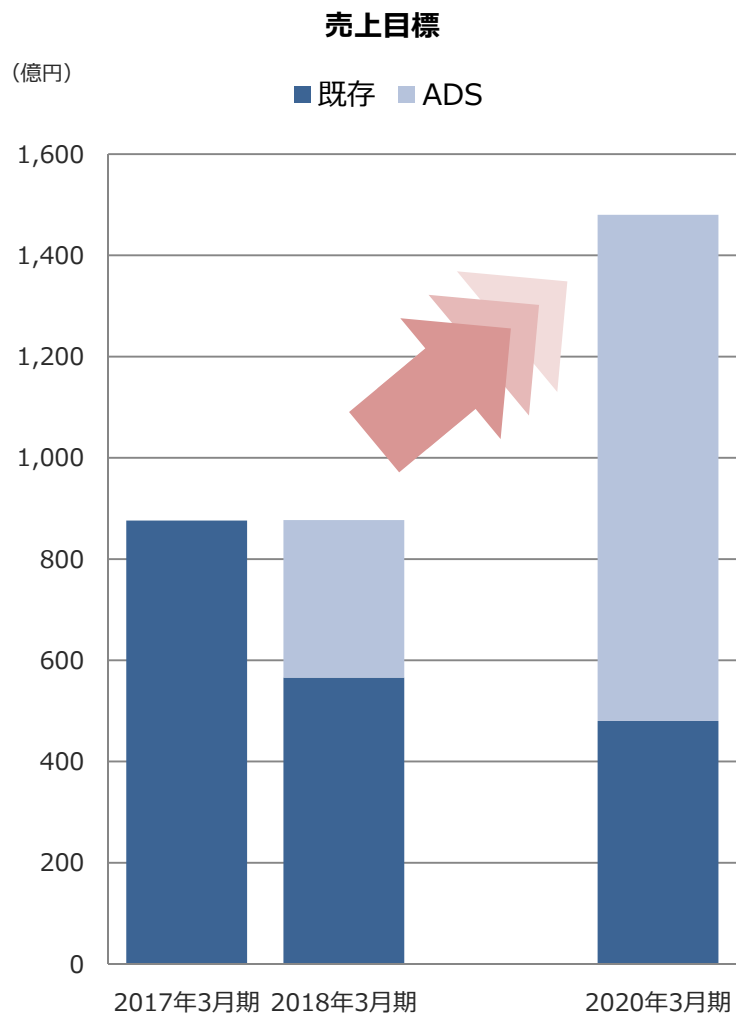
4

取扱製品を拡充・拡販する

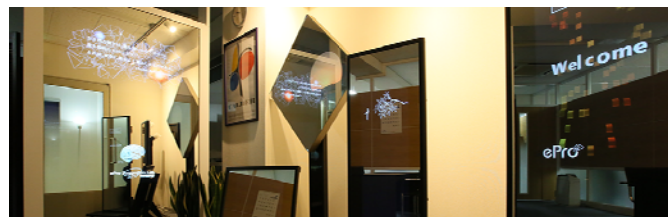
5

新規市場を開拓する（中長期）

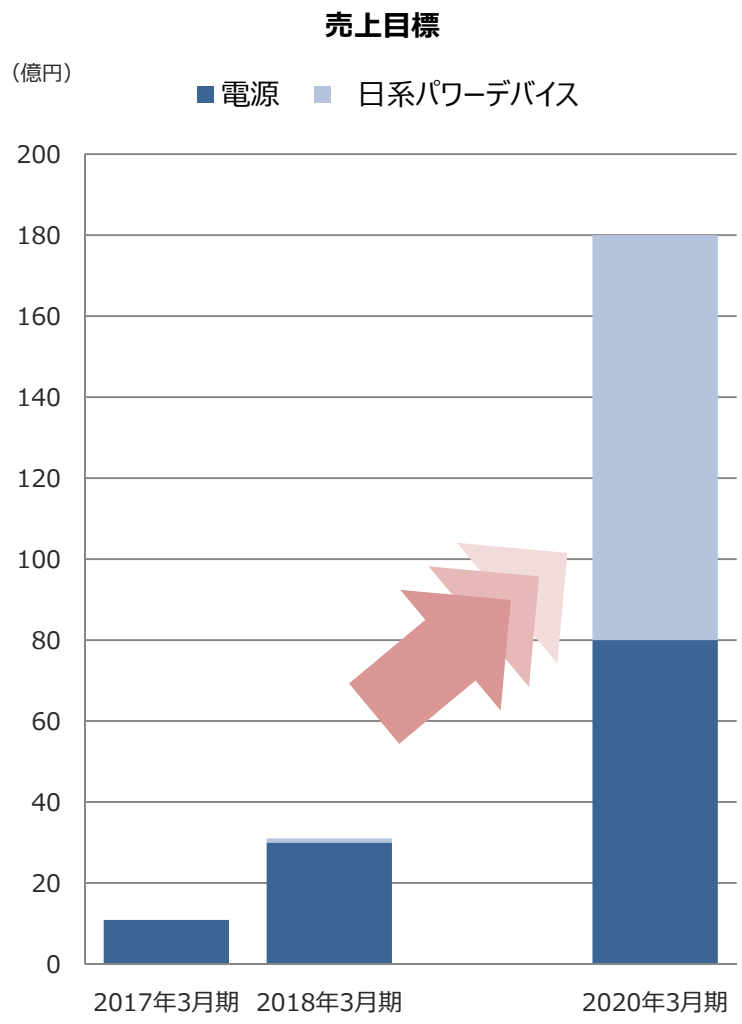
1 液晶総合力でNo.1となる



◆ 液晶をコアビジネスと位置付ける
新しい表示デバイスの市場を先取りし、
サプライヤーとユーザーを結び付けることで
ビジネスチャンスを確実に捉える



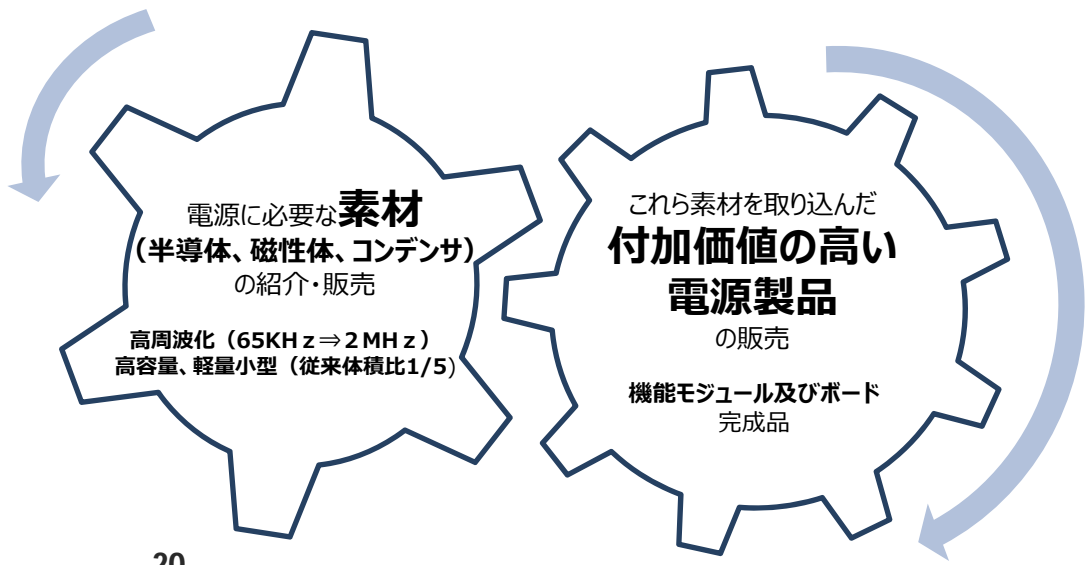
2 電源とパワーデバイスの両輪を極める



◆ 電源・パワーデバイスを

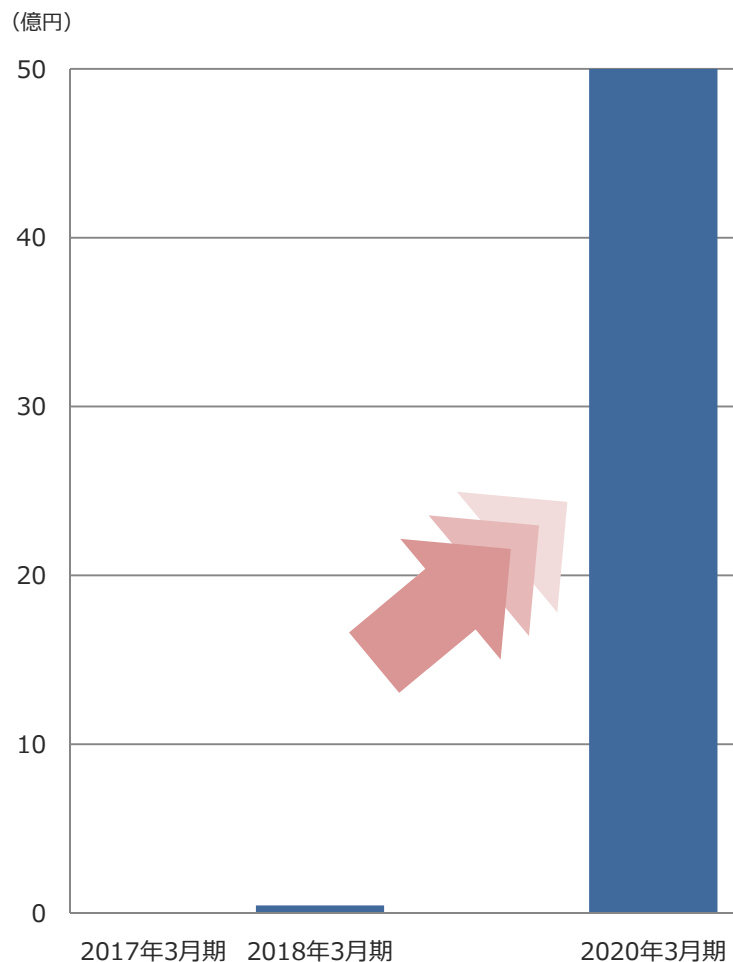
第二の柱に育てる

日系パワーデバイスの優れた製品と電源メーカーを結び付け、中国、ASEAN地区のEVチャージャー、モバイル電源、組込電源に注力

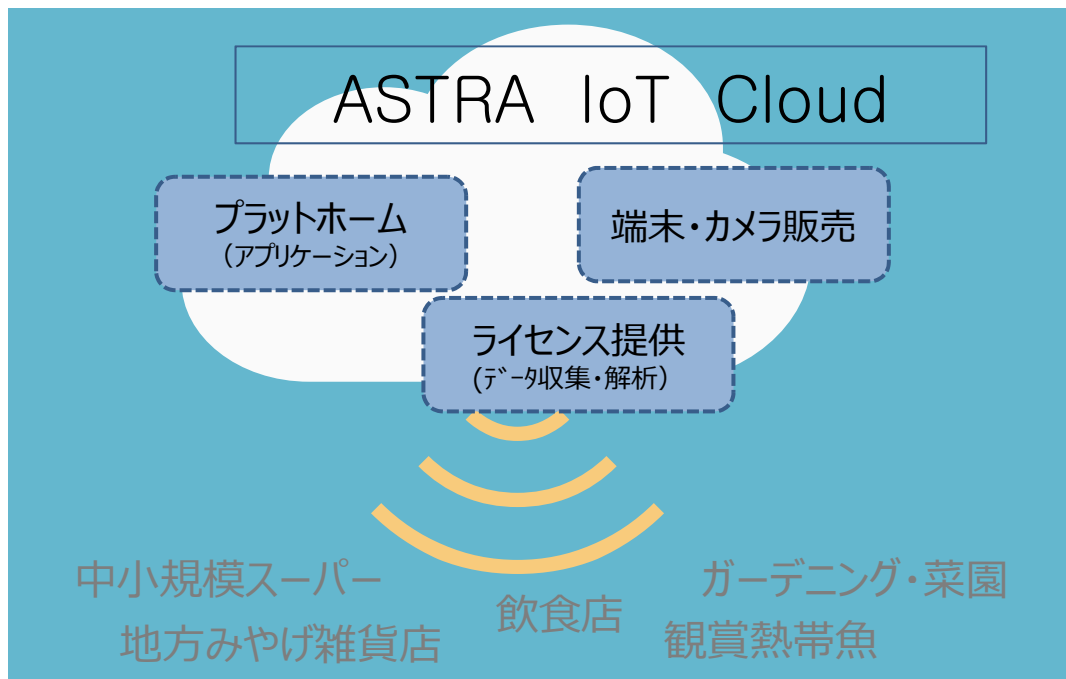


3 'IoT'のビジネスモデルを確立する

売上目標

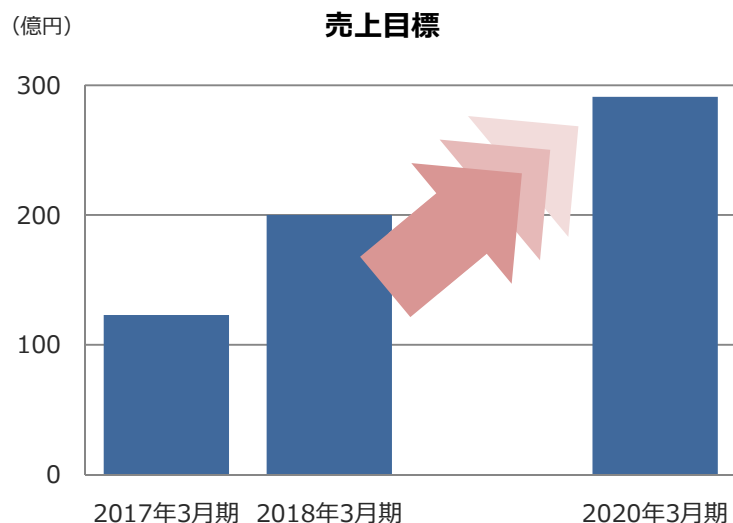


◆ASTRA社と連携し、カメラ等を活用したIoTのプラットフォームを提供し、ライセンスビジネスを推進する
専門家がいない会社や個人とIoTを結び付け、簡易に動態分析ができる環境を提供



4

取扱製品を拡充・拡販する



◆ 新規仕入先・新規商材を発掘し、顧客のニーズと結び付けることで、ビジネスの拡大を図る

5

新規市場を開拓する（中長期）

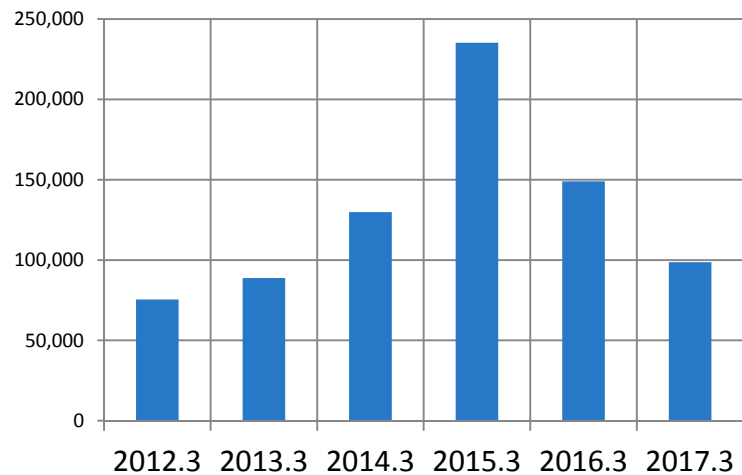
◆ 「事業企画部」の新設

- 既存ビジネスの枠を超えた事業領域への進出
(AI、自動運転、ロボット等)
- 地域別、産業別マクロ分析による事業戦略の策定

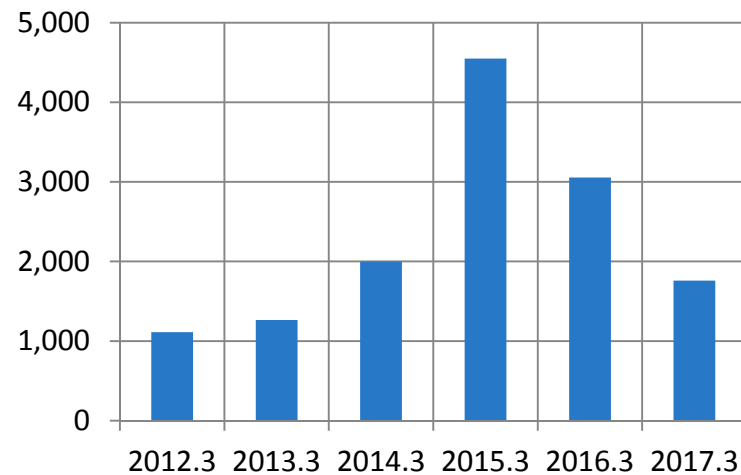
DATA SHEET

		単位	2012.3	2013.3	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3
業績	売上高	百万円	75,392	88,840	129,806	235,272	148,945	98,703
	営業利益	百万円	1,111	1,265	1,999	4,549	3,054	1,760
	経常利益	百万円	1,716	1,139	2,263	4,653	2,651	1,448
	当期純利益	百万円	732	1,054	1,517	-7,805	2,330	1,065
1株データ	1株当たり当期純利益[EPS]	円	84.53	121.73	175.14	-900.72	268.87	122.94
	1株当たり純資産[BPS]	円	2,602.68	2,654.80	3,282.77	2,401.57	2,628.34	2,676.65
	1株当たり配当金	円	30	30	32	34	34	34
資産・負債	総資産	百万円	33,643	52,589	66,831	107,949	67,192	49,057
	純資産	百万円	23,007	24,916	28,476	20,864	22,915	23,440
	自己資本比率	%	68.4	47.4	42.6	19.3	33.9	47.3
財務指標	自己資本利益率[ROE]	%	3.2	4.4	5.7	—	10.7	4.6
	株価収益率[PER]	倍	9.7	7.7	6.5	—	5.2	12.2
キャッシュ・フロー	営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-2,755	-58	-610	-39,224	31,977	12,332
	投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-245	-626	-72	-49	-60	216
	財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-1,491	2,934	2,384	41,467	-28,177	-19,077
	現金及び現金同等物の期末残高	百万円	5,440	7,853	9,809	12,708	16,284	8,719

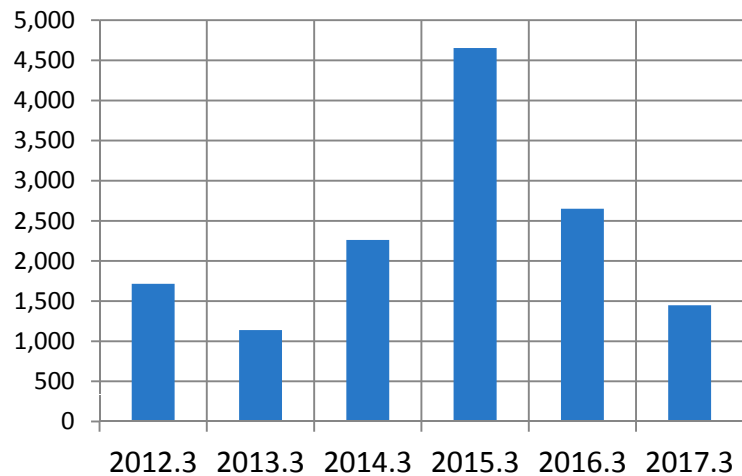
売上高 (百万円)



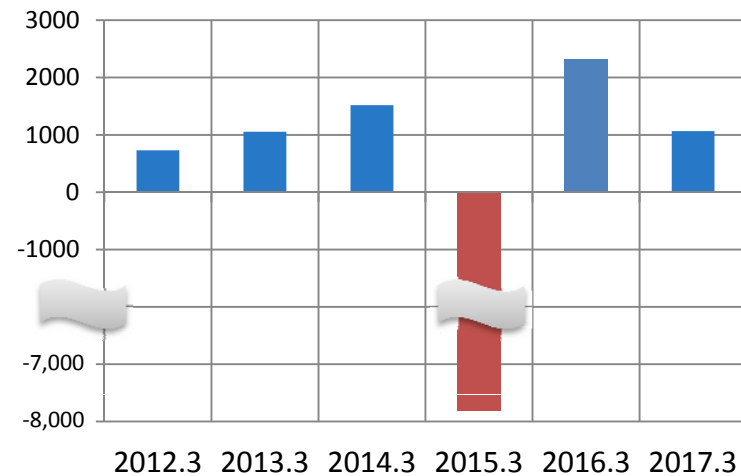
営業利益 (百万円)



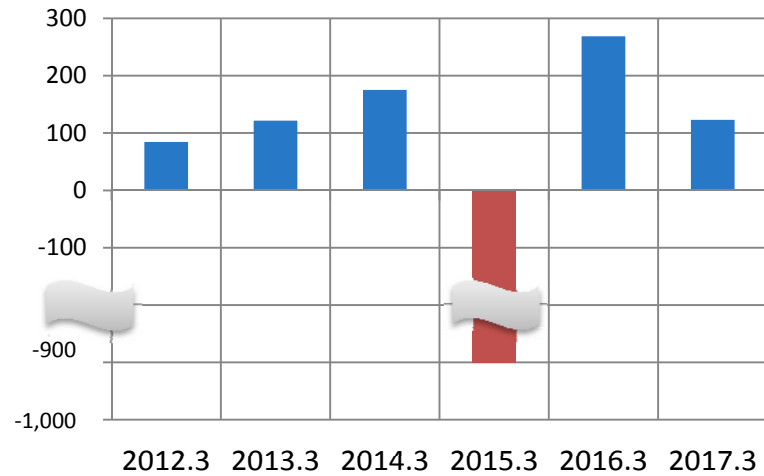
経常利益 (百万円)



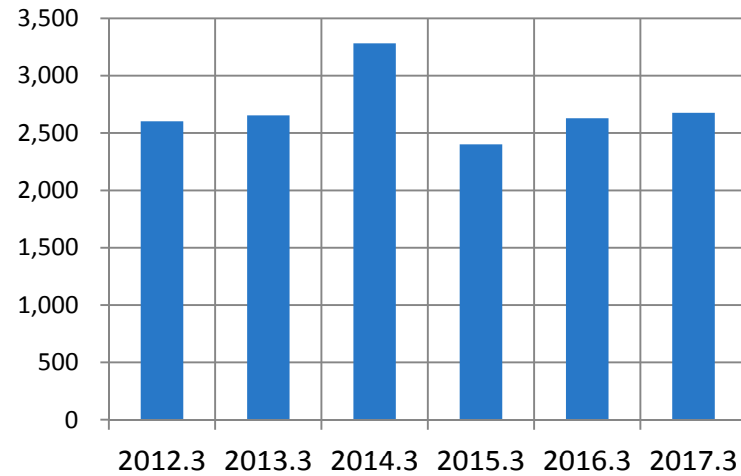
当期純利益 (百万円)



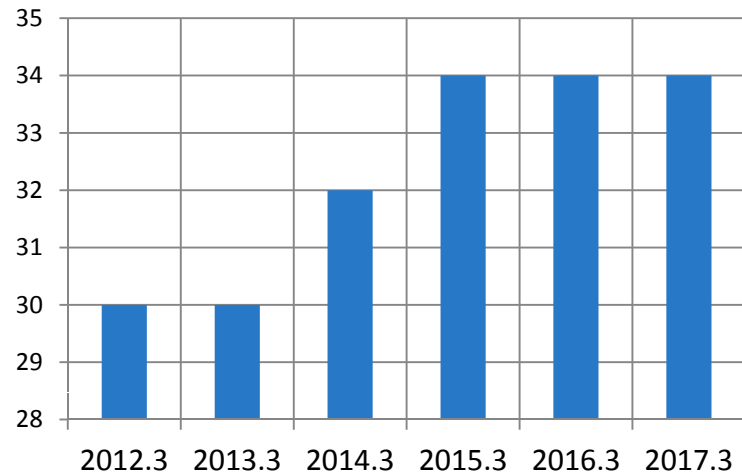
1株当たり当期純利益[EPS] (円)



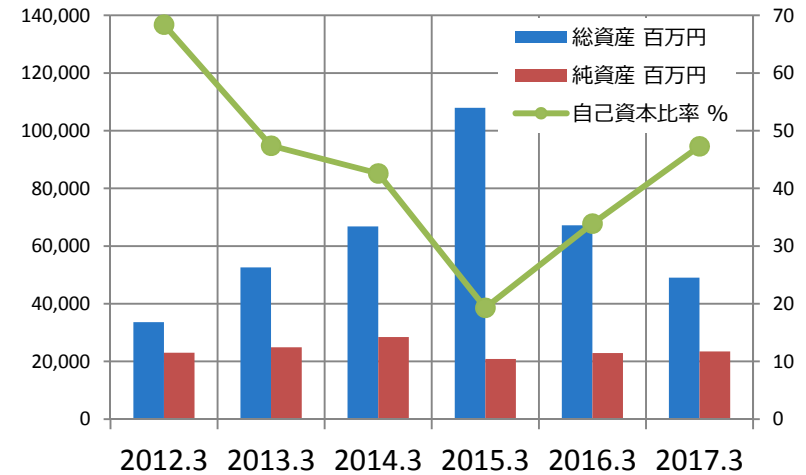
1株当たり純資産[BPS] (円)



1株当たり配当金 (円)



総資産 (百万円) 純資産 (百万円) 自己資本比率 (%)



資料取扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられている株式会社エクセルの業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。



<http://www.excelweb.co.jp/investor/index.html>